

平成 29 年 11 月 27 日

お客様各位

長崎自動車株式会社

IC カード乗車券に関する方針について 長崎スマートカードから地域創生型新カードへ

長崎バスを運行する長崎自動車株式会社（長崎市新地町 代表取締役社長：嶋崎真英）では、現在お使いいただいております、IC カード乗車券（長崎スマートカード）の販売及び利用を、平成 31 年度を目途に終了し、新たな IC カードへと移行する方針を決定いたしましたのでお知らせします。

今後は、この方針に基づき、お客様並びに地域の皆様に喜んでいただける地域創生型新カードの開発と導入を目指して参ります。



から

地域創生型新カードへ 交通＋生活

1. 長崎スマートカードについて

サービス開始から、今年で 15 年目となる長崎スマートカードは、交通系共通 IC カードの先駆けであり、県内 10 社局のバス及び鉄軌道でご使用になれます。

現在では、年間稼働ベースで約 45 万枚のカードが発行されており、県人口の約 3 割の方々にご利用いただいております。

《導入事業者》

長崎自動車	さいかい交通	
長崎県営バス	長崎県営バス	島鉄バス
西肥バス	佐世保市営バス	させぼバス
長崎電気軌道	松浦鉄道	

《社局別シェア》

【全 域】

長崎自動車	54.5%
他 8 社局	45.5%

※平成 27 年度 全社局合計の長崎スマートカード利用金額を基にしたシェア

※長崎自動車には、さいかい交通分を含む

【県南・県央】

長崎自動車	65.0%
他 3 社局	35.0%

※県南・県央エリア（長崎市、時津町、長与町、西海市、諫早市、大村市）のシェア

※他 3 社局：長崎県営バス、長崎県営バス、長崎電気軌道

※長崎自動車には、さいかい交通分を含む

2. 長崎スマートカードの課題

地域独自の交通カードとして、多くの方々にご利用いただいている長崎スマートカードですが、以下の課題を有しております。

① カードとシステムの老朽化

長崎スマートカードは導入から既に 15 年が経過し、システム的にも老朽化が進んでいます。現行システムの延命には多額のコストがかかるうえに、恒久的対策とはなりません。

② 新たなサービスの展開が困難

後発の交通系 IC カードは、電子マネーとして様々な機能を有しています。しかし、交通機関の運賃としてのみご利用可能な長崎スマートカードに、新たな機能を付加することは困難です。

3. 当社の基本理念・基本方針

上記の課題解決に向け様々な角度から検討を重ねた結果、当社は新 IC カード乗車券に関し、以下を基本理念・基本方針といたしました。

《基本理念》

地域独自の価値を創造し資金と情報の好循環を実現する。

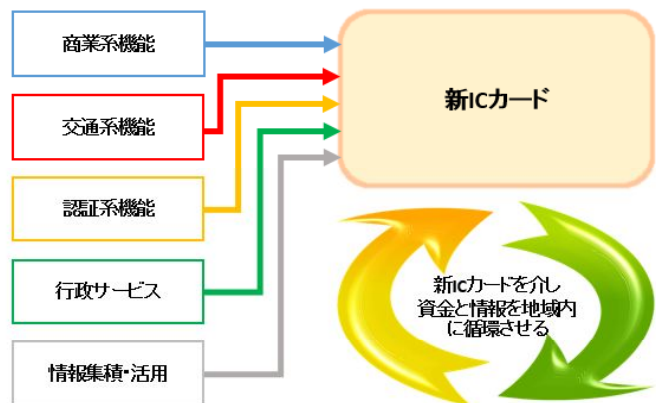
《基本方針》

- ① 地域独自の多機能カードで、地域の方々に高い利便性を提供する。
- ② 地域独自の電子マネーの普及を通じ、地域経済の好循環を実現する。
- ③ カードで得られた情報や知識を、地域の発展へ役立てる。

4. 新カードの概要

上記の基本理念と基本方針に従い、単なる交通系カードとも商業系カードとも一線を画す多機能カードを目指します。

地域の方々の利便性を向上させ、地域経済に活力をもたらす、地域創生型の新 IC カードです。



5. Tポイントサービスの導入

現在の割引サービスに替わる新たな付加価値として、全国 70 万店舗以上でご利用できる日本最大級の共通ポイントサービスである、Tポイントを導入いたします。

Tポイントは新 IC カードの商業利用はもとより、バス乗車時のご利用でも付与される予定です。

尚、一般路線バスでのTポイントサービス導入は、全国でも初の事例となります。

6. タクシーでのご利用

新 IC カードは、長崎タクシー共同集金様様が導入される予定です。

同社 NT ネットワークサービス提携タクシー約 1,300 台でご利用可能となり、バスもタクシーも、新 IC カード一枚でスムーズにご利用いただけます。

7. 他社局様との相互利用

長崎スマートカード導入事業者で、当社とさいかい交通を除く 8 社局様は次期カードに nimoca を導入する旨の方針を公表されています。

nimoca と当社が開発・導入を目指している新 IC カードは異なるシステムであるため、現状の構想のままでは相互利用が出来なくなる可能性があります。

しかし、長崎スマートカードで実現している相互利用が出来なくなることは、ご利用者の利便性低下につながるため、当社は他社局様のカードを当社の車両でも使用していただけるサービスの導入を検討しております。

同様に、他社局様に対しても、ご利用者の利便性という観点から、当社カードを使用可能な環境の整備をお願いして参りたいと存じます。

8. その他

今後の予定等は以下のとおりです。

① 新 IC カードへの移行時期

平成 31 年度を目処に導入を予定しています。

長崎スマートカードから新 IC カードへ替わる際は、ご利用者の混乱を招かないように、適切な移行期間（併用期間）を設けさせていただきます。

尚、最終的には、現在の長崎スマートカードはご使用できなくなります。

② 事業運営会社の設立

新たな地域創生型・生活カードの開発と導入に際し、広く外部の見識を取り入れることを目的に、事業運営会社を設立いたします。

設立後、新 IC カードの基本施策実現や諸課題解決に向けた業務は、この事業運営会社を中心となって行う予定です。

長崎スマートカードは、キャッシュレスの利便性のみならず、乗継割引や団体様定期券の自動継続機能といった様々なサービスを展開して参りました。

平成 14 年に、全国に先駆けて導入した交通系共通 IC カードではありましたが、県内に広く普及し多くの方々に独自のサービスを提供できましたのも、「長崎の交通カード」として温かく育てて下さったお客様並びに地域の皆様、そして、交通行政を始めとする関係各所の皆様のご協力の賜物に他なりません。

当社は長崎スマートカード導入事業者として、これまで様々な経験を積み多くの事を学ばせていただいたことに深く感謝いたします。

これから、新たな地域創生型新カードの開発を具体的に進めるうえで、それらの知識や経験を活かし、ご利用者に喜んでいただけるサービスや利便性の実現に向け専心努力して参る所存でございます。

以上